

古市春彦（第四區） 一、六一七票（落選）
 今之を前回の昭和五年二月の得票数に比較して見ると
 龜井貫一郎、一一、六四二票にして、二一、三八三票の増加
 小池四郎、一三、六一二票にして、 七六七票の増加
 浅原健三、 一八、七二六票にして 六、一七九票減少
 古市春彦、 初陣にして 一、六一七票
 となつてゐるのであるが特に全國注視の的であり且つ概ね
 其の當選を豫想されてゐた第二區に於ける浅原健三氏が遂
 に落選したるに反し、龜井貫一郎氏が浅原氏に比し一萬票
 以上の優勢を以つて當選したることは驚異の眼を放たれた
 のである。
 而して其の當落の理由は概ね次の如き原因に基くものとせ
 られてゐる。
 龜井貫一郎氏の當選理由

1、前製鐵所勞務部長田尻生五氏（政友公認）の立候補に
 刺戟せられ背水の陣を以つて最も果敢なる選挙闘争
 を爲したること。
 2、其の論旨が浅原健三氏の夫れに比し時局に即して大衆
 の共鳴を得たること、殊に浅原氏との立會演説に於て
 滿洲問題を論じ勞大黨の帝國主義戦争絶對反對論を喋
 罵攻撃し浅原氏を強く壓倒したること。
 3、前回の總選挙に對する侮辱戦にして大衆の同情を得た
 こと。

浅原健三氏の落選理由

1、其の言論戦に於ける論旨が滿洲問題日支關係の現状に
 對して大衆の反感を激發したこと、即ち前龜井氏と反
 對の結果を招きたること。
 2、前製鐵所勞務部長田尻生五氏の立候補に依る影響を受